

会議記録（１）

会議名称	平成３０年度北本市指定管理候補者選定委員会	
開会及び閉会日時	平成３０年１０月１８日（木） 午後２時００分から３時３０分	
開催場所	北本市役所 委員会室２	
議長氏名	荒井康博	
出席委員(者)氏名	伊藤康敏、大塚美津子、白津吉英、深見勝彦、山田正秋 荒井康博、江口誠、田中正昭、三橋浩範、原口穰	
欠席委員(者)氏名		
説明者の職氏名	指定管理申請者：社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団 障がい福祉課長：吉田美佐男 障がい福祉副課長：佐々木由美子 同課給付担当GL：河田美穂	
事務局職員職氏名	財政課長：北村純一 同課事務管理担当GL：矢ノ川直登 同課同担当主事：冨田侑花	
会議次第	1 開会 2 議事 (1) 審査、選定の方法について (2) 障害福祉サービス事業所あすなろ学園の審査について 3 その他 4 閉会	
配布資料	次第 指定管理候補者選定資料	

会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
	1 開会
委員長	2 議事 議事(1) 審査、選定の方法について事務局から説明を求める。 －事務局から審査、選定の方法について説明－
委員長	続いて議事(2)「障害福祉サービス事業所あすなろ学園の審査について」説明を求める。 －障がい福祉課及び社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団入室－ －障がい福祉課より施設概要について説明－
委員長	以上の説明に対して質問はあるか。
委員	相談支援事業は、他の施設でもやっているか。
障がい福祉課長	障害福祉サービス事業所ふれあいの家と障害児学童保育室でやっている。
委員	近隣の類似の施設で、指定管理者制度を採用しているところはあるか。
障がい福祉課長	所沢市、戸田市の施設で採用している。
委員長	引き続き社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団からプレゼンテーションを求める。 －社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団より申請内容について説明－
委員長	以上の説明に対して質問はあるか。
委員	他市町村で指定管理者の申請をしているか。
事業団	していない。県と北本市のみ。

会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
委員	平成２９年度事業報告書収支計算について、法人全体の当期資産残高とあすなろ学園の当期資産残高について説明してほしい。
事業団	-別添資料「事業報告書収支計算」について説明-
委員	平成２４年度は、指定管理料が高い。理由は何か。
事業団	法改正に備えての措置であったが、結果的に使っていない。余った１，５００万円は、修繕工事や備品の購入として使うため、市と覚書を交わし、積立金として処理した。
委員	その使途は、明確にしておいたほうがよい。
委員	あすなろ学園事業の資金残高が３，０００万円以上となっているが、収支に差額が出たときはどのような対応をするのか。
事業団	施設修繕や退職金等のために積み立てる。
委員	黒字が続いている。安定した経営だと考える反面、指定管理料を下げることはできないかとも考えるがどうか。
事業団	実態に合わせ、計画的な予算執行に努めたい。来年度からは、新たに相談事業を実施するが、指定管理料は据え置いている。
委員	課題はあるか。
事業団	施設の老朽化の対応も急務である。
委員	施設修繕のための積立金の残高は。
障がい福祉課長	８００万円ほどある。公共施設整備計画の関係もあり、現在は大規模な修繕工事をやる予定はない。
委員	所管課は、指定管理料は申請どおりの４，３００万円ではないか。

会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
障がい福祉課長	今後、消費税アップ、人件費のベースアップ等がある。4,300万円は、債務負担をする上での上限額となる。各年度の指定管理料については、年度協定において決定する。
委員	利用者の平均年齢は。
事業団	38歳である。毎年18歳が入ってくる。しかし、65歳が2人いる。高齢化は進んでいる。
委員	利用者の作業は、ずっと同じか。
事業団	さおり織など、ずっとやっているものもあるが、そのときの賃金、作業内容により変えている。16業者と契約している。
委員長	他に質問はあるか。
委員一同	-なし-
委員長	<p>以上で所管課による施設概要説明及び申請者からのプレゼンテーションを終わりにする。</p> <p>－障がい福祉課及び社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団が退室－</p>
委員長	申請書のとおり、社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団を障害福祉サービス事業所あすなろ学園の指定管理候補者としてよろしいか。
委員一同	－了解－
委員長	<p>以上で議事を終了する。以後の進行は事務局にお願いする。</p> <p>3 その他</p> <p>4 閉会</p>
	以上

会議記録（2）

議事の内容・概要を記載し、その相違なきを証するためここに署名する。

年 月 日 委員長